

123 オメガ ビスどめホールダウンHi

43.7kNまで対応可能な高耐力、クロムフリーでビスどめタイプのホールダウン金物



Hi28



Hi43



TBB-75

(使用本数)
Hi28 = 5本
Hi43 = 10本



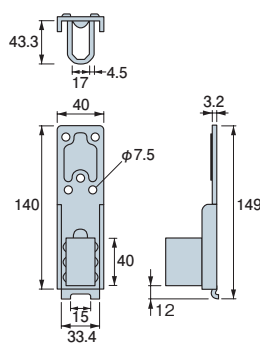
[Hi28]



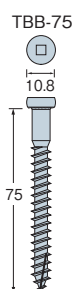
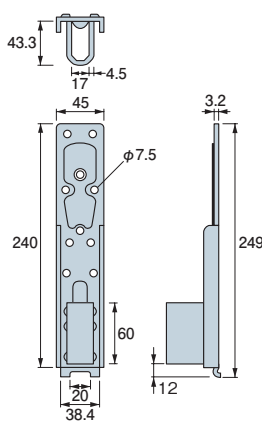
[Hi43]

■寸法図

● Hi28



● Hi43



■ビスどめホールダウンHi

種類	サイズ (mm)	商品コード	梱包 (1ケース)	付属金物	重量 (kg/ケース)
Hi28	40 × 149 × 3.2 (t)	AF4H2800	30個	専用角ビットビス TBB-75 (150本)	11.6
Hi43	45 × 249 × 3.2 (t)	AF4H4300	25個	専用角ビットビス TBB-75 (250本)	17.7
材質	板部 JIS G 3134 SPFH590 U字部 JIS G 3131 SPHC		表面処理	エコート®WH処理	

「エコート®WH処理」は、NOFメタルコーティングス(株)の登録商標です。

ビスどめホールダウンHi28

一財・建材試験センター
性能試験 第13A2008号

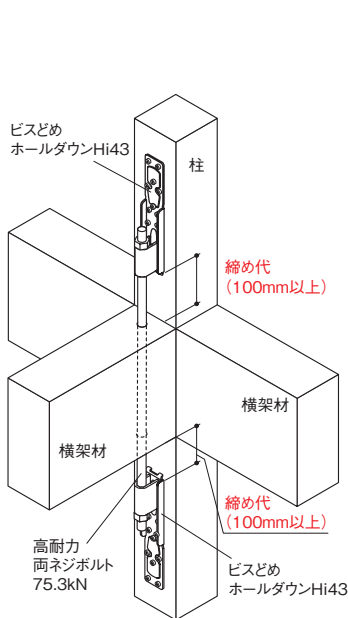
短期基準引張耐力 28.2kN

ビスどめホールダウンHi43

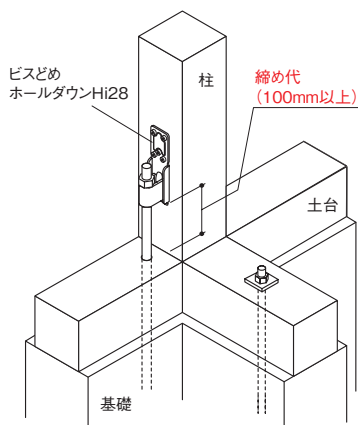
一財・建材試験センター
性能試験 第13A2544号

短期基準引張耐力 43.7kN

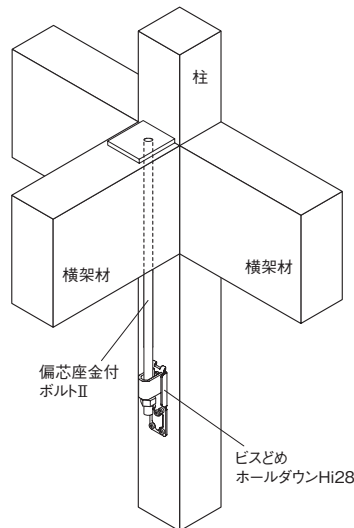
〔1F柱頭、2F柱頭、柱脚使用の場合〕



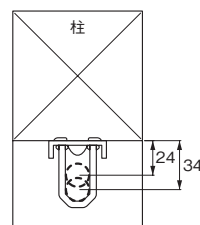
- 柱の引き抜き耐力が37.6kNを超える箇所を「ビスどめホールダウンHi43」の両引きでとめ付ける場合には134ページに掲載の「高耐力両ネジボルト75.3kN」を必ず使用してください。



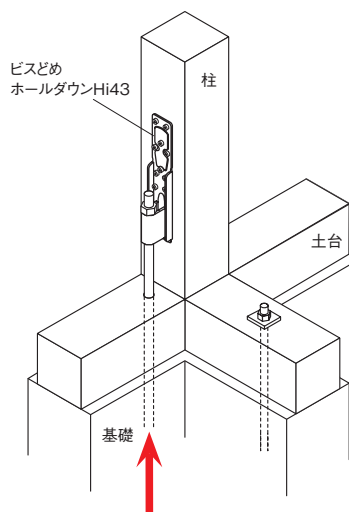
- 柱の引き抜き耐力が25kN以上の箇所には60ページに掲載の「オメガアンカーボルトM16※」を使用してください(推奨)。
(※Fc21コンクリート、基礎幅135mm、埋め込み深さ200mmの場合の短期許容引張耐力は53.3kNになります。)
- 横架材から金物までの寸法(縮め代)は100mm以上を確保してください。



- 「ビスどめホールダウンHi28」を柱頭部に使用するには143ページに掲載の「偏芯座金付ボルトⅡ※」が最適です。直上に管柱がある場合は、両引きボルトM16で引き合わせることも可能です。
※43.2kN(べいまつ類時)のめり込み耐力が確保できます。



●ボルト用ホルのクリアランス寸法



ビスどめホールダウンHiには下表のオリジナルアンカーボルトが便利です。

商品名	埋め込み深さ	短期許容引張耐力
オメガアンカーボルトM16	200mm	53.3kN
異形Sアンカーボルト	200mm	42.0kN

※Fc21コンクリート、基礎幅135mmの場合。

用途・特長

基礎と柱の緊結、柱と横架材の緊結、上下階の柱相互の緊結に使用します。

- Hi28は28.2kN、Hi43は43.7kNまでの柱の引き抜き耐力に対応するホールダウン金物です。
- ボルト用ホールは従来品と同様にクリアランスを設け、ホールダウン用アンカーボルト取り付け位置の微調整が可能です。
- 従来品に比べて取り付けビスの本数を少なくし、施工性を向上させました。(当社比較)
- 高張力鋼板を採用し、軽量化と耐力を両立させた環境に配慮したクロムフリー対応商品です。
- 平ワッシャーは使わずに施工が可能です。
- 一財・建材試験センターによる品質性能試験済商品です。

施工方法

- 本体のボルト用ホールにアンカーボルトまたは縦ボルトを通し、ボルト用ホール上部からナットの縮め代25mm程度を出すように位置を合わせます。
 - 専用角ビットビスTBB-75を規定本数でとめ付けてください。
 - アンカーボルトまたは縦ボルトをナットで締め付けてください。
- ※専用角ビットビスTBB-75の締め付けには、3番四角ビット(別売品)をご使用ください。(P160)

注意事項

- 指定の用途以外には使用しないでください。
- けが防止のため手袋等をはめて作業を行ってください。
- 柱にパネル枠材(45mm厚以下)を介する場合は、「枠材用ビスどめホールダウンHi」(P140)をご使用ください。
- 2×4工法には、「2×4用ビスどめホールダウンHi」(P204)をご使用ください。